

天
下
樂



意二入一 鶴二磨一の二こ一 室二落一と二海一を二此一
 未二の一 小二く一 だ二は一 務二を一 ち二ろ一 せ二ん一
 一二ま一 落二り一 ち二ろ一 け二み一 も二の一 ち二ろ一
 一二井一 や二久一 望二乃一 月二此一 邦二の一 山二陰一 乃二
 賀二成一 乃二宮一 居二に一 着二小一 ち二わ一 く二
 一二手一 洗二や一 き二よ一 ぶ二心一 よ二し一 貴二水一 の二
 賀二成一 乃二あ一 り二く一 に二い一 け二敷一 ち二わ一

廿六

一二く一 に二く一 落二ま一 は二人一 の二世一 も二神一 ち二
 一二た一 し二老一 だ二ち一 剛二く一 女二 ち二整一 く二
 一二水一 五二月一 形二影一 更二く一 様二様一 も二な一 貴二
 一二龍一 川二風一 も二涼一 し二貴一 夕二波一 よ二ん一 も二
 一二し一 め二象一 の二桶一 の二も一 ち二な一 かな二く一 ぬ二
 一二方一 妙二 あ一 ち二覚一 ぬ二形一 能二る一 ち二子一 振二
 一二神一 子二あ一 ち二遊一 ち二哉一 ち二あ一 ち二乃一 此二を一 成二

の神乃神藏のもみり
りめり当社よ参りていざ
是なる川を流る神を壇を
白糸懸り白羽乃突城
湯竹乃氣をくたわ是ハ
何と申ふ事ゆきり
家の神も御糸福も
三言 板ハ

ろやぶ、種が命はハ当社の
は神祇ともは神物ともた
御多神内事なるわあ
那るはさとなるた湯竹
妙ひくへ 羊上 実乃糸き
板、当社の神祇を
ろやぶ、種が命はハ当社の
は神祇ともは神物ともた
御多神内事なるわあ
那るはさとなるた湯竹
妙ひくへ 羊上 実乃糸き
板、当社の神祇を

ぶ雷乃神是なるを ツギ 其母みこも
神と成るるが女三はの神社とる也
ツギ せうりしせいはのりわる
海六上の神秘いなるのが家 方に
まあまへちりりとももづき
さうまうやふける人の治り
御代をけき白羽乃バ 百葉代乃

すあまもづきに強は心まわ
ツギ 能くさけちるる類や極く其大を
と海代の今末乃世よあうぬ
矢まもづき神祇なる謂ハ
ツギ 実能不寄志新くた指を
何事も ツギ らうしんじ
濁るも ツギ おなうしんじ 流るる類く

三詩

くまふく神乃清く流るるふ

実を歌ふは子かやうに集

語新ふ御方いひの成人や

三詩

し新ら皮ひるをるのなわぬ

きんや神一連りをもすき

すの魚大分はく君哉まわら

び神述をほききしめむ

あつり神出る 船一や我あ

づか一や我海乃波を歌を

淺増屋ふあまもやあわな

よりみりわきまゆえん

屋もが貴神ろし電振ふ

しそふらるる神徳を小

かわにらわやく 天女上 慈を歌の

おわぬる屋あまゆはみや井に
地を志めり清泉を源の流生哉
うづ子と木かへんうぬるひ
見えやの神地阿ふくや那
さもも思侍代をあふくわ
上苑
万もあふくやへんやな君此
めももももは何時よはなま

と美のうは 慈あまは影向
おののお好花あまおたかに
あまのうは 女のやうかえ
清水洗乃ほづく福まうはあ
えとまみ袖をぬるひうら
いゝえとあづく斎哉うはか
おわくく山河なまあ揺る

まはるくわなるあまの神降来
現 妙く 我ハ是五城を
乃もあ君臣此乃あ雷の神方わ
あるひそ徳天吾神 となはる
虚空日飛行 又ハ國去城
垂徳の方便 和光因慈結縁乃
海ありあまあまの神は事厚あ

風雨降何乃見う 徳宮井く
わきりり所ち老やも事なうり地
ひわひなるけまの給茶乃露も
屋もる程う小があひり所去徳
雨をくちうさわくは是るい
ほあしく回ろく出く
光あまの神の徳乃

時も玉も乃玉懸成彩も國志を
智護——おまゝまる時_心は_心の
神徳と菊光をあり——あり——
ま——富みおや乃神ハだも寸徳
森に苑をわくく——を新く
あ残くちる——や雲きわをわき
心く清ち遠神も天語入りもち

止る神も天路よちち乃_心海_心を
虚定みあり——せ新ひくわ



11777
1912

